

光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校
校長 山谷 安雄
令和4年度 第8号
令和4年12月9日

高校の時の授業と感染症

校長 山谷 安雄

12月に入り寒さもいっそう厳しくなってきました。文化発表会、合唱コンクールも生徒の頑張り期待以上の成果が得られ、1年生の校外学習等の行事も計画通り実施できました。

さて、50年近く前に習った高校の授業の内容を時々思い出すことがあります。それは、「人類は、感染症との戦い」という言葉です。地理では、四大文明が起こったのは、大きな川で定期的に洪水が起こって肥沃な土が運ばれてきて作物が豊かに収穫できるので、その洪水の周期性を見つけ出すために天文学だけでなく様々な文明が作り出されてきたと言われていています。しかし、熱帯地方にはマラリアという病気があり、マラリア原虫という寄生虫をもったある蚊（ハマダラカ）に刺されると発症します。この蚊は、暑い地方だけに住んでいて、今でも世界中の熱帯地方では感染する人がたくさんいます。暑い地方に文明が栄えなかった理由の一つのようです。

また、今から30年前に、国立感染症研究所に理科の教員として研修に行ったときに、インフルエンザのうち強毒性の鳥インフルエンザが大変恐ろしいということ力を説かれました。その当時は、インフルエンザの検査キットも特効薬のタミフルもなかった時代でした。なぜ、そんなに怖いかを研修のなかで話されました。もし、強毒性の鳥インフルエンザが流行したら新型コロナウイルス感染症以上に感染が広がると言われています。

さらに歴史的には、14世紀に世界でペストが流行したときには、世界の人口の四分の一が亡くなったといわれています。（記録がないので信憑性は不明）また、「吸血鬼ドラキュラ」や吸血コウモリの話も、実際は恐水症（狂犬病）にかかったコウモリにかまれると病気がうつることを逸話として作り、コウモリは怖い生き物であると知らせたものだと言われています。また、日本で「平穏に何事もなく暮らしています。」という意味の「つつがなく」もツツガムシにも刺されずということだそうです。世界のあらゆる地域で感染症は恐れられていたということです。

ところで、第8波の新型コロナウイルス感染症ですが、感染者数も前週を上回る感染者数が報告されています。ワクチンに引き続き飲み薬「ゾコーバ」も認可され期待したいところです。長い人類の歴史の一コマですが、まさか、これだけ衛生管理がされている現代社会で感染が広がるとは3年前には想像できませんでした。学校では、感染に十分注意して3年前と同じ学校生活にもどすようにしています。協力をお願いします。